

あなたのメロディが見つかる。

DOHO Smile & Communication

高大一貫7年教育 同朋高等学校〈音楽科〉から名古屋音楽大学へ!

同朋高等学校の音楽科は全国唯一の高大一貫7年教育を実施。高校のみならず、大学の施設も使って、質の高いレッスンが受けられるなど、よりレベルの高い音楽教育を受けることができます。

同朋高等学校 音楽科

ピアノ専攻、管楽専攻、弦楽専攻、
打楽専攻、声楽専攻、作曲専攻、
電子オルガン専攻、教養音楽専攻



ゆとりと充実の7年間で自分の音楽を極める

名古屋音楽大学

2012年4月 同朋芸術文化大学音楽学部(認可申請中)

ピアノコース、管楽コース、弦楽コース、
打楽コース、邦楽コース、声楽コース、
舞踊・演劇・ミュージカルコース、
作曲コース、映像音楽コース、
電子オルガンコース、ジャズ・ポピュラーコース、
音楽教育コース、音楽療法コース、
音楽総合コース、音楽ビジネスコース



同朋高等学校〈音楽科〉から名古屋音楽大学への特別推薦制度による進学の際には、名古屋音楽大学の入学金が免除されます。



●地下鉄東山線「中村公園」駅から市バス5分
〔稲西車庫〕行き「鴨付町」下車、自転車8分、徒歩15分
●市バス「栄」から25分、「笹島」から15分
〔稲西車庫〕行き「鴨付町」下車

学校法人同朋学園 同朋高等学校 音楽科

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1
TEL (052) 411-1147 (音楽科) FAX (052) 411-1944
(052) 411-1216 (入試広報室)

ホームページ <http://www.doho-h.ed.jp>
E-mailアドレス information@doho-h.ed.jp

個人レッスンで個性を伸ばす

「専攻実技」は、50分の個人レッスンでしっかり腕を磨きます。専攻実技には、ピアノ・声楽・管楽・弦楽・打楽・電子オルガン・作曲・教養音楽があり、入学志願者は、希望する専攻を選んで受験します。その他、数々の専門科目で生徒一人ひとりの個性を伸ばします。



ヨーロッパ修学旅行

ウィーン、ザルツブルグなどをめぐり本場の音楽を肌で感じ、多数の天才を輩出した街の雰囲気を感じます。



DOHO SENIOR HIGH SCHOOL MUSIC

同朋高等学校 音楽科
SCHOOL GUIDANCE

同じ目標を持つ仲間と共に、
それぞれの感性を伸ばしていく——。

音楽は心の表現。

だからこそ、同朋高校音楽科では一人ひとりの個性を育むことに教育の重点をおいています。

音楽という共通の目標を持つ仲間たちと充実した楽しい高校生活の中で、
自分自身を磨いていってください。



名古屋音楽大学との 深い絆

同朋高等学校(音楽科)では、高校・大学を通したゆとりある教育体制で、一人ひとりの生徒を大切に育てています。したがって、音楽科のほとんどの生徒は、卒業後同じ学園内の名古屋音楽大学に進学します。もちろん、国公立の芸大等に進学する生徒のバックアップ体制も万全です。

音楽科の主な行事

6 June



公開実技試験

8 August

中学生のための 夏期講習会

音楽に興味のある中学生が対象で、実力に対応した実技指導やソルフェージュ・楽典の授業を行います。実際のレッスンを体験する絶好の機会です。

9 September



アンサンブル演奏会

10 October



オーケストラ・合唱
演奏会

12 December

音楽科体験入学

本校音楽科に推薦入学を希望する三年生が対象になります。希望者は中学校を通して申し込んでください。

1 January



卒業演奏会

音楽科の「ここが知りたい!」にお答えします。

Q1 音楽科は1学年何クラスありますか。

A 一人ひとりへの指導を充実させるために、学年1クラスです。毎年約30名の人が音楽科に入学します。ピアノを専攻する人が一番多く、他に声楽、ヴァイオリン、フルートなどいろいろです。クラス全員が同じ目標なので、みんなで力を合わせ、毎日楽しい高校生活を送っています。

Q2 音楽科に入学するには、どのような準備をすればいいでしょうか。

A 国語、数学、英語などの一般教科の勉強のほかに、各専攻実技、ソルフェージュ、楽典の専門分野の準備が必要です。専攻実技、ソルフェージュについては、専門の先生のもとで、個人的に指導をうけてください。楽典は中学校で習ったことをよく復習しておいてください。課題曲等の詳細については、別紙の入試要項を見てください。

Q3 専攻実技のレッスンは、どのようにして行われますか。

A 専門講師陣によるマン・ツーマン方式によって、生徒一人ひとりの能力に合わせ進められます。週一回50分です。



Q4 専門科目には、どのような教科がありますか。

A 専攻実技、副科実技、ソルフェージュ、音楽理論、音楽史、合奏・合唱、重唱・重奏、演奏法があり、週11時間が専門科目です。特に、合奏・合唱の授業は、全学年合同で行われ、年1回の演奏会にむけて厳しい練習が行われます。専攻実技の試験では、2・3年生対象に年一度、公開試験が行われ、父母をはじめ、多くの観客の前で演奏することになっています。

Q5 音楽が好きで、ブラスバンド部で3年間活動してきました。音楽科に進学し、もっと深く音楽を勉強したいのですが…。

A 多分、あなたはかなり技術をもっていることと思います。でも、一度専門の先生に相談し、指導を受けてください。そして、ぜひ音楽科に入学してください。

Q6 卒業後の進路状況を教えてください。

A 大半の生徒諸君が、併設の名古屋音楽大学へ進みます。本校から名古屋音楽大学へは特別推薦制度があり、他の高校よりかなり有利です。その他、東京芸術大学、愛知県立芸術大学、愛知教育大学、沖縄県立芸術大学といった国立大学、武蔵野音楽大学、国立音楽大学、桐朋学園大学、東京音楽大学、などにも毎年多くの生徒が合格しています。



活躍する卒業生

平成6年度卒 石川 祐支

1977年生まれ、名古屋市出身。
8歳からチェロをはじめ、同朋高等学校音楽科を経て東京音楽大学へ特待生として進学、同大学を首席で卒業。同時に優れた演奏家に贈られるNTTDoCoMo賞をはじめさまざまな奨学金を得る。その後は、研究科へ進み、より高いレベルの演奏を追及し、2001年に研究科を修了。これまでに松下修也、林良一、星野明道、吉田顕、河野文昭、堀了介の各氏に師事。

現在は、ソロ、室内楽を初めオーケストラの分野でも幅広い活躍を繰り広げている。

1998年第8回日本室内楽コンクールで第2位入賞、1999年には第68回日本音楽コンクールで堂々の第1位(第2位該当なし)を獲得、併せて黒

柳賞も受賞する栄冠に輝いた。同年岩崎淑氏主催の沖縄国際音楽祭1999とイタリアのシエナで夏季に開催されるキジアナ音楽院との交換留学生として奨学金を得て、マリオ・ブルネロ氏に学ぶ。2002年5月第8回大垣音楽祭において最優秀新人賞を受賞。これまでにセントラル愛知交響楽団、東京シティーフィル、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団とコンチェルトを共演し、いずれも好評を博している。

2003年4月から2005年1月まで東京交響楽団首席チェリストとして活躍。2004年の秋よりシリアス弦楽四重奏団を結成し現在も活動中。2005年4月より札幌交響楽団首席チェリストに就任。2005年10月よりピアニストの及川浩治氏とヴァイオリニストの石田泰尚氏とトリオBeeを結成し2006年9月に本格デビュー。

繊細でありながら豊かな響き、曲の個性を十分に表現する演奏は、音楽に対する深い理解と真摯な姿勢に裏打ちされており、今後いっそうの活躍が期待される若きチェリストである。